

安息日に歩く

・ 9: 30 DP 6a 池 . + 7 2 y 7 ?
 38年 . 5 人 a 夫
 申 2: 14 . 5 7 a 節
 サデシニバニテ . 5 7 a 節
 カラゼレデ川 . 5 4 人 .

GD Fee .
 神は安息日にも動く。
 ・ 生かす (11a 5 と 2 子) - 11 4 子
 ・ 殺す (11a 5 と 2 子)
 ・ 雨を降らせ子 .

earmark .

安息日 .
 ・ 21 1 2 2: 23-3: 6
 ・ 11 7 13: 10-17 , 14: 1-6
 ・ 2 2 1 12: 1-14

れ . 多く .

5

1 こののち、ユダヤ人の祭があったので、イエスはエルサレムに上られた。
 2 エルサレムにある羊の門のそばに、ヘブル語でベテスダと呼ばれる池があった。そこには五つの廊があった。
 3 その廊の中には、病人、盲人、足なえ、やせ衰えた者などが、大ぜいからだを横たえていた。「彼らは水の動くのを待っていたのである。」
 4 それは、時々、主の御使がこの池に降りてきて水を動かすことがあるが、水が動いた時真っ先にはいる者は、どんな病気にかかっていたても、いやされたからである。」
 5 さて、そこに三十八年のあいだ、病気に悩んでいる人があった。
 6 イエスはその人が横になっているのを見、また長い間わづらっていたのを知って、その人に「なおりたいのか」と言われた。
 7 この病人はイエスに答えた、「主よ、水が動く時に、私を池の中に入れてくれる人がいません。私がいりかけると、ほかの人が先に降りて行くのです。」
 8 イエスは彼に言われた。「起きて、あなたの床を取りあげ、そして歩きなさい。」
 9 すると、この人はすぐにいやされ、床をとりあげて歩いて行った。
 その日は安息日であった。

安息日を
 祭りと
 議論するの？

ズ + 8 4 1

5

10 そこでユダヤ人たちは、そのいやされた人に言った、「きよは安息日だ。床を取り上げるのは、よろしくない。」
 11 彼は答えた、「私をなおして下さったかたが、床を取りあげて歩けと、私に言われました。」
 12 彼らは尋ねた、「取りあげて歩けと言った人は、だれか。」
 13 しかし、このいやされた人は、それがだれであるか知らなかった。群衆がその場にいたので、イエスはそっと出て行かれたからである。
 14 そののち、イエスは宮でその人に出会ったので、彼に言われた、「ごらん、あなたはよくなりました。もう罪を犯してはいけません。何かもつと悪いことが、あなたの身に起るかも知れないから。」
 15 彼は出て行って、自分をいやしたのはイエスであったと、ユダヤ人たちに告げた。
 16 そのためユダヤ人たちは、安息日にこのようなことをしたと言って、イエスを責めた。
 17 そこで、イエスは彼らに答えられた、「私の父は今に至るまで働いておられる。私も働くのである。」
 18 このためにユダヤ人たちは、ますますイエスを殺そうと計るようになった。それは、イエスが安息日を破られたばかりではなく、神を自分の父と呼んで、自分を神と等しいものとされたからである。

10: 33

ほど



父が子をつかわす

19 さて、イエスは彼らに答えて言われた、「よくよくあなたがたに言っておく。子は父のなされることを見ている以外に、自分からは何事もすることができない。父のなされることであればすべて、子もそのとおりにするのである。」

20 なぜなら、父は子を愛して、みずからなされることは、すべて子にお示しになるからである。そして、それよりもなお大きなわざを、お示しになるであろう。あなたがたが、それによって不思議に思うためである。21 すなわち、父が死人を起して命をお与えになるように、子もまた、そのころにかろう人々に命を与えるであろう。

22 父はだれをもさばかない。さばきことはすべて、子にゆだねられたからである。23 それは、すべての人が父を敬うと同様に、子を敬うためである。子を敬わない者は、子をつかわされた父をも敬わない。

24 よくよくあなたがたに言っておく。私の言葉を聞いて、私をつかわされたかたを信じる者は、永遠の命を受け、またさばかれることがなく、死から命に移っているのである。

25 よくよくあなたがたに言っておく。死んだ人たちが、神の子の声を聞く時が来る。今すでにきている。そして聞く人は生きるであろう。

26 それは、父がご自分のうちに生命をお持ちになっていると同様に、子にもまた、自分のうちに生命を持つこととお許しになったからである。27 そして子は人の子であるから、子にさばきを行う権威をお与えになった。

28 このことを驚くには及ばない。墓の中にいる者たちがみな神の子の声を聞き、

29 善をおこなった人々は、生命を受けるためによみがえり、悪をおこなった人々は、さばきを受けるためによみがえって、それぞれ出てくる時が来るであろう。

30 私は、自分からは何事もすることができない。ただ聞くままにさばくのである。そして、私のこのさばきは正しい。それは、私自身の考えではなく、私をつかわされたかたの、み旨を求めているからである。

31 もし、私が自分自身についてあかしをするならば、私のあかしはほんとうではない。32 私についてあかしをするかたはほかにあり、そして、その人がするあかしがほんとうであることを、私は知っている。

33 あなたがたはヨハネのもとへ人をつかわしたが、そのとき彼は真理についてあかしをした。

34 私は人からあかしを受けなかった。このことを言うのは、あなたがたが救われるためである。

35 ヨハネは燃えて輝くあかりであった。あなたがたは、しばらくの間その光を喜び楽しむようになった。

36 しかし、私には、ヨハネのあかしよりも、もっと力があるあかしがある。父が私に成就させようとしてお与えになつたわざ、すなわち、今私がしているこのわざが、父の私をつかわされたことをあかししている。

37 また、私をつかわされた父も、ご自分で私についてあかしをされた。あなたがたは、まだそのみ声を聞いたこともなく、そのみ姿を見たこともない。

38 また、神がつかわされた者を信じないから、神の御言はあなたがたのうちにとどまっていない。

39 あなたがたは、聖書の中に永遠の命があると思つて調べているが、この聖書は、私についてあかしをするものである。

40 しかも、あなたがたは、命を得るためには私のもとにこようとしなさい。

41 私は人からの誉を受けることはしない。42 しかし、あなたがたのうちには神を愛する愛がないことを知っている。

43 私は父の名によつてきたのに、あなたがたは私を受けられない。もし、ほかの人が彼自身の名によつて来るならば、その人を受けいれるのであろう。

44 互に誉を受けながら、ただひとりの神からの誉を求めようとしなさいあなたがたは、どうして信じることができようか。

45 私があなたがたのことを父に訴えると、考えてはいけません。あなたがたを訴える者は、あなたがたが頼みとしているモーセその人である。

46 もし、あなたがたがモーセを信じたならば、私をも信じたであろう。モーセは、私について書いたのである。47 しかし、モーセの書いたものを信じないならば、どうして私の言葉を信じるだろうか。

死んだ人の子の声をきく

2920 さばき

父が子をつかわす

さばき

父が

モーセ

ことばを聞く

さばき 2920

聖書を信じろ

4400 pisteno

光にみあかし

3140 martureo x 7
3141 marturia x 4



父につかわされた者
ことばをきく

いふこと子
いふこと子 (さば)

つかわされた 3992 pempo
つかわされた 649 apostello

声を聞く - 申命記

水上を歩く

ヨハ18:18
モーセの預言者

1 そののち、イエスはガリラヤの海、すなわち、テベリヤ湖の向こう岸へ渡られた。

2 すると、大ぜいの群衆がイエスについてきた。病人たちになぎざつていたしるしを見たからである。

3 イエスは山に登って、弟子たちと一緒にそこで座につかれた。

4 時に、ユダヤ人の祭である過越が間近になつて来た。

5 イエスは目をあげ、大ぜいの群衆が自分の方に集まつて来るのを見て、ピリポに言われた、「どこからパンを買つてきて、この人々に食べさせようか」。

6 これはピリポをためそうとして言われたのであつて、ご自分ではしようとするのを、よくご承知であつた。

7 すると、ピリポはイエスに答えた、「二百デナリのパンがあつても、めいめいが少しずついたただくにも足りませんまい」。

8 弟子のひとり、シモン・ペテロの兄弟アンデレがイエスに言った、

9 「ここに、大麦のパン五つと、さかな二ひきとを持つてゐる子供がいます。しかし、こんなに大ぜいの人では、それが何になりましょう」。

10 イエスは「人々をすわらせなさい」と言われた。その場所には草が多かつた。そこにすわつた男の数は五千人ほどであつた。

11 そこで、イエスはパンを取り、感謝してから、すわつてゐる人々に分け与え、また、さかなをも同様にして、彼らの望むだけ分け与えられた。

12 人々がじゅうぶんに食べたのち、イエスは弟子たちに言われた、「少しでもむだにならないように、パンくずのあまりを集めなさい」。

13 そこで彼らが集めると、五つの大麦のパンを食べて残つたパンくずは、十二のかごにいっぱいになつた。

14 人々はイエスのなぎざつたこのしるしを見て、「ほんとうに、この人こそ世にきたるべき預言者である」と言つた。

15 イエスは人々がきて、自分をとらえて王にしようとしてゐると知つて、ただひとり、また山に退かれた。

16 夕方になつたとき、弟子たちは海べに下り、

17 舟に乗つて海を渡り、向こう岸のカペナウムに行きかけた。すでに暗くなつていたのに、イエスはまだ彼らのところにおいでにならなかつた。

18 その上、強い風が吹いてきて、海は荒れ出した。

19 四、五十丁ごぎ出したとき、イエスが海の上を歩いて舟に近づいてこられるのを見て、彼らは恐れた。

20 すると、イエスは彼らに言われた、「私だ、恐れることはない」。

21 そこで、彼らは喜んでイエスを舟に迎えようとした。すると舟は、すぐ、彼らが行こうとしていた地に着いた。

6

ヨハ18:25

22 その翌日、海の向こう岸に立つていた群衆は、そこに小舟が一そうしかなく、またイエスは弟子たちと一緒に小舟にお乗りにならず、ただ弟子たちだけが船出したのを見た。

23 しかし、数そらの小舟がテベリヤがらきて、主が感謝されたのちパンを人々に食べさせた場所に近づいた。

24 群衆は、イエスも弟子たちもそこにいないと知つて、それらの小舟に乗り、イエスをたずねてカペナウムに行つた。

25 そして、海の向こう岸でイエスに出会つたので言つた、「先生、いつ、ここにおいでになつたのですか」。

26 イエスは答えて言われた、「よくよくあなたがたに言つておく。あなたがたが私を尋ねてきているのは、しるしを見たためではなく、パンを食べて満腹したからである」。

27 朽ちる食物のためではなく、永遠の命に至る朽ちない食物のために働くがよい。これは人の子があなたがたに与えるものである。父なる神は、人の子にそれをゆだねられたのである」。

28 そこで、彼らはイエスに言つた、「神のわざを行うために、私たちは何をしたらよいでしょうか」。

29 イエスは彼らに答えて言われた、「神がつかわされた者を信じて、神のわざである」。

30 彼らはイエスに言つた、「私たちが見てあなたを信じるために、どんなしるしを行つて下さいますか。どんなことをして下さいますか」。

31 私たちの先祖は荒野でマナを食べました。それは「天よりのパンを彼らに与えて食べさせた」と書いてあるとおりです」。

32 そこでイエスは彼らに言われた、「よくよく言つておく。天からのパンをあなたがたに与えたのは、モーセではない。天からのまことのパンをあなたがたに与えるのは、私の父なのである」。

33 神のパンは、天から下つてきて、この世に命を与えるものである」。

34 彼らはイエスに言つた、「主よ、そのパンをいつも私たちに下さい」。

35 イエスは彼らに言われた、「私が命のパンである。私に來る者は決して飢えることがなく、私を信じる者は決してかわくことがない」。

36 しかし、あなたがたに言つたが、あなたがたは私を見たのに信じようとはしない」。

37 父が私に与えて下さる者は皆、私に來るであろう。そして、私に來る者を決して拒みはしない」。

38 私が天から下つてきたのは、自分のこのころのままを行うためではなく、私をつかわされたかたのみこのころを行うためである」。

39 私をつかわされたかたのみこのころは、私に与えて下さつた者を、私がひとりも失わずに、終りの日によみがえらせることである」。

40 私の父のみこのころは、子を見て信じる者が、ことごとく永遠の命を得ることなのである。そして、私はその人々を終りの日によみがえらせるであらう」。

6

ヨハ11:24
ヨハ12:1-4



4:34 命を下さるに
命を下さる

命を下さるに
命を下さる

天からの
命のパン

神がつかわされた
神のわざ

ヨハネによる福音書

肉-こはひ 血-ちぢ
パン ぶどう酒

1 歴 11:19 / 2 王 23:17

三勇士の血 = 水

レビ 17:11 / Gen 9:6

肉の血は血に食ひ

父から下つて来たパンは、先祖たちが食べたが死んでしまったようなものではない。このパンを食べる者は、いつまでも生きるであらう。

神は肉を食ひ、血を飲む。 - 子から下つて来たパンは、先祖たちが食べたが死んでしまったようなものではない。このパンを食べる者は、いつまでも生きるであらう。

人の子の肉と血を
飲むには、食ひ。

天から下つて来たパン

私に食ひ、
天から下つて来たパン

6
41 ユダヤ人らは、イエスが「私は天から下つて来たパンである」と言われたので、イエスについてつぶやき始めた。
42 そして言った、「これはヨセフの子イエスではないか。私たちはその父母を知っているではないか。私は天から下つてきたと、どうして今いふのか」。
43 イエスは彼らに答えて言われた、「互につぶやいてはいけない。
44 私をつかわされた父が引きよせて下さらなければ、だれも私に来ることはできない。私は、その人々を終わりの日によみがえらせるであらう。
45 預言者の書に、『彼らはみな神に教えられるであらう』と書いてある。父から聞いて学んだ者は、みな私に来るのである。
46 神から出た者のほかに、だれかが父を見たのではない。その者だけが父を見たのである。
47 よくよくあなたがたに言っておく。信じる者には永遠の命がある。
48 私は命のパンである。
49 あなたがたの先祖は荒野でマナを食べたが、死んでしまった。
50 しかし、天から下つて来たパンを食べる人は、決して死ぬことはない。
51 私は天から下つて来た生きたパンである。それを食べる者は、いつまでも生きるであらう。私が与えるパンは、世の命のために与える私の肉である」。
52 そこで、ユダヤ人らが互に論じて言った、「この人はどうして、自分の肉を私たちに与えて食べさせることができようか」。
53 イエスは彼らに言われた、「よくよく言っておく。人の子の肉を食べず、また、その血を飲まなければ、あなたがたの内に命はない。
54 私の肉を食べ、私の血を飲む者には、永遠の命があり、私はその人を終わりの日によみがえらせるであらう。
55 私の肉はまことの食物、私の血はまことの飲み物である。
56 私の肉を食べ、私の血を飲む者は私におり、私もまたその人におる。
57 生ける父が私をつかわされ、また、私が父によつて生きているように、私を食べる者も私によつて生きるであらう。
58 天から下つて来たパンは、先祖たちが食べたが死んでしまったようなものではない。このパンを食べる者は、いつまでも生きるであらう」。
59 これらのことは、イエスがカペナムの会堂で教えておられたときに言われたものである。

生ける父が私をつかわされ、また、私が父によつて生きているように、私を食べる者も私によつて生きるであらう。

6
60 弟子たちのうちの多くの者は、これを聞いて言った、「これは、ひどい言葉だ。だれがそんなことを聞いておられようか」。
61 しかしイエスは、弟子たちがそのことでつぶやいているのを見破つて、彼らに言われた、「このことがあなたがたのつまずきになるのか。
62 それでは、もし人の子が前にいた所を上るのを見たら、どうなるのか。
63 人を生かすものは霊であつて、肉はなんの役にも立たない。私があなたがたに話した言葉は霊であり、また命である。
64 しかし、あなたがたの中には信じない者がいる」。イエスは、初めから、だれが信じないか、また、だれが彼を裏切るかを知つておられたのである。
65 そしてイエスは言われた、「それだから、父が与えて下さつた者でなければ、私に来ることはできないと、言つたのである」。
66 それ以来、多くの弟子たちは去つていつて、もはやイエスと行動を共にしなかつた。
67 そこでイエスは十二弟子に言われた、「あなたがたも去らうとするのか」。
68 シモン・ペテロが答えた、「主よ、私たちは、だれのところに行きましょう。永遠の命の言をもつていられるのはあなたです。
69 私たちは、あなたが神の聖者であることを信じ、また知つています」。
70 イエスは彼らに答えられた、「あなたがた十二人を選んだのは、私ではなかつたか。それなのに、あなたがたのうちひとりには悪魔である」。
71 これは、イスカリオテのシモンの子ユダをさして言われたのである。このユダは、十二弟子のひとりでありながら、イエスを裏切るうとしていた。

死を告げられた子
主は、自分の肉を食ひ、自分の血を飲む。

裏切、信じ

Gen 2: 10-12 肉と血

肉を食ひ、血を飲む

不品行 - 偶像にさす(肉)

(こはひ)

信じ - 食ひ?

肉を食ひ

主を知り、主に感謝し、主を信じて、主を愛する

パン - 満足はし

食ひ

子から下つて来たパンは、先祖たちが食べたが死んでしまったようなものではない。このパンを食べる者は、いつまでも生きるであらう。

南原 - 生かす

- 生かす (不妊)

Heaven 4:10



信じる者がいる

荒野